

医史学・医の人間学

《 医史学研究室 》

名誉教授



酒井 シヅ

特任教授



坂井 建雄

スタッフ

《客員教授》 山田裕道／大久保剛

《助 教》 澤井直

《非常勤助手》 村上歩



▶ 主な研究テーマ

- ① 西洋医学史、近代以前と近代
- ② 日本医学史、とくに江戸期以降
- ③ 医学教育史、とくに順天堂

▶ 主な研究内容

日本で唯一の医史学研究室

酒井シヅ教授は、わが国の医学史の第一人者で、広く愛読されている『病が語る日本史』（講談社学術文庫、2008）など数多くの著作があります。

坂井建雄教授は、医学史の古今の原典資料を幅広く渉猟し、新たな医学史書『図説 医学の歴史』（医学書院、2019）、一般向けに『医学全史』（ちくま新書、2020）を上梓しました。18世紀以前の西洋伝統医学が4教科で教えられて近代医学とは異なる構造をもっていたこと、その中の科学的探究の要素が19世紀以後に発展して、基礎医学と臨床医学からなる西洋近代医学が生まれたという、新しい知見を元に医学史が描かれています。医学教育の歴史については、『日本医学教育史』（編著、東北大学出版会、2012）、『医学教育の歴史—古今と東西』（編著、法政大学出版局、2019）を発表しています。

坂井教授と澤井直助教授が中心となって、古代の医師ガレノスのギリシャ語原典を解説・翻訳する研究会を定期的にもち、『ガレノス解剖学論集』（京都大学学術出版会、2011）、『身体諸部分の用途について』（同、2016）を上梓しています。

